

分類：医療・社会・行動科学 III

授業科目名：感染症・感染制御（Infectious Diseases and Infection Control） - 感染症の予防、診断と治療 -

対象学年：3年次必修

時間割コード：71633020

開設学期等：第31週～第36週（毎週火曜日5-10時限）

単位数：1

1. 主任教員

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00）

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

2. 担当教員

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00）

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

竹田正秀（講師、呼吸器内科学講座、7510、オフィスアワー：8：30～17：00）

舘田一博（非常勤講師、東邦大学医学部）

面川歩（非常勤講師、協和病院）

奥山慎（非常勤講師、中通総合病院）

石川陽子（、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

感染症の診断、治療、予防、感染制御について臨床上の要点を理解し、適切な感染症診療について課題レポート作成およびその発表を通して説明できる。（2-4～2-7、3-2～3-7、4-1～4-5、4-7～4-8、5-2～5-3）

さらに、本領域が関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明・実践できる。（1-1～1-2、3-3、3-5、3-7、4-4）

4. 教科書・参考書

Qシリーズ新微生物学改訂第2版. 舘田一博・松本哲哉・岩田敏・榎村浩一・赤尾信明（編著）、木村聡一郎・本田なつ絵・吉澤定子・石井良和・嵯峨知生・森伸晃・小林了・多屋馨子・山口哲央・南條友央太（著）、日本医事新報社、2021年
レジデントのための感染症診療マニュアル第4版. 青木真（著）、医学書院、2020年

5. 成績評価の方法

出席回数を満たした者を課題レポートおよび総括試験で評価する。

課題レポートは、各個人に割り振った課題について臨床上の要点を3分間で説明するプレゼン資料をWebClassに提出したものを評価し、優秀学生には課題発表会で発表していただく。詳細は講義中に説明する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

COVID-19のパンデミックで感染症が再び注目されています。感染症・感染制御は全ての臨床医が避けて通ることができない重要な分野であり、適切な感染症診療を習得する必要があります。

本講義シリーズは、感染症を専門として修めた感染症専門医ならびにその専攻医、および感染管理認定看護師が担当します。

感染症については基礎医学での微生物学、および各系統講義シリーズでもすでに触れているところですが、本講義シリーズではそれらの縦糸を臨床感染症の観点で横断的に整理して横糸で紡ぎなおし、感染症・感染制御を今後継続的に学ぶ足掛かりを提供します。微生物・感染症領域の国家試験過去問題集を提供しているのもその一環です。

感染症・感染制御には多くの固有名詞が登場する3つの山があります。病原体、抗微生物薬、ワクチンの3つの山に対し、どのように学ぶと理解しやすいかを講義の中でお伝えしますが、記憶の新しいうちに能動的に整理することが感染症を得意分野にするコツです。

よりよい感染症診療の実現に向けて受講者の皆さんとともに前進できることを願っています。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	12月 12日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：導入・微生物検査(1) 微生物検査を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
2	12月 12日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：微生物検査(2) 微生物検査を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
3	12月 12日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：感染症法 感染症法を理解し臨床的な意義を説明できる。	奥山慎	医学系研究棟4階6講義室
4	1月9日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：感染症治療(1) 感染症の治療を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
5	1月9日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：感染症治療(2) 感染症の治療を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
6	1月9日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：新興再興感染症・熱帯医学・腸管感染症 新興再興感染症・熱帯医学・腸管感染症を理解し臨床的な意義を説明できる。	面川歩	医学系研究棟4階6講義室
7	1月16日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：ワクチン・VPD(ワクチンで予防可能な疾病) ワクチン・VPDを理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
8	1月16日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：感染制御(1) 感染制御を理解し臨床的な意義を説明できる。	石川陽子	医学系研究棟4階6講義室
9	1月16日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：結核・呼吸器感染症 結核・呼吸器感染症を理解し臨床的な意義を説明できる。	竹田正秀	医学系研究棟4階6講義室
10	1月23日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：感染制御(2) 感染制御を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
11	1月23日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：感染制御(3) 感染制御を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
12	1月23日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：日和見感染症 日和見感染症を理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
13	1月30日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：感染症診療の実際とトピックス 感染症診療の実際とトピックスを理解し臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
14	1月30日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：課題発表	嵯峨知生	医学系研究棟4階6講義室
15	1月30日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：特別講義	館田一博	医学系研究棟4階6講義室